

行政事業レビューシート (文部科学省)						
予算事業名	国際連合大学事業への拠出		事業開始年度	平成4年度	作成責任者	
担当部局庁	大臣官房国際課		担当課室	国際課	国際課長 池原 充洋	
会計区分	一般会計		上位政策	国際協力の推進		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計 画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	国際連合大学本部は、国際連合のシンクタンクとして、人類の存続・発展等にかかる世界的な問題についての研究、研修及び知識の普及を行っており、日本は国際連合大学のホスト国として、国際連合大学と我が国の大学、学界等の学術協力を推進する。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	グローバルな変化とサステナビリティ、国際協力と開発、平和構築と安全保障といった世界的な問題に関する研究・人材育成事業・知識普及事業等を実施するための経費。(国際連合大学に対する拠出。)					
実施状況	本事業では、(1)平和とガバナンス、(2)環境と持続可能な開発、(3)能力育成、(4)普及活動、(5)アフリカ教育支援イノベティブ・センター、(6)環境教育プロジェクト、(7)サステナビリティ人材育成プログラムを実施するための経費を拠出した。(平成21年度)					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	212	214	200	170	163
	執行額	212	214	200		
	執行率	100.0%	100.0%	100.0%		
	総事業費(執行ベース)	212	214	200		
自己点検	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況	国際連合大学の事業担当者と面会して事業の進捗状況を把握すると共に、国際連合大学が作成した会計報告書において、支出先・用途を把握し、拠出金の使用状況や事業目的との整合性を確認している。				
	見直しの 余地	<input type="checkbox"/> 国際連合大学はHP等で広報活動を行っているが、実施事業内容及び成果は世間一般にはあまり知られていない。限られた財源を効率的に使い、成果の一層の普及に努めるよう国際連合大学に求める。 <input type="checkbox"/> 国際連合大学が平成22年度から新たに始める学位(大学院レベル)プログラムに対し、拠出金が有効に活用されるよう、努める。				
予算 チームの 監視の 効率化	1. 事業評価の観点：この事業は、世界的な問題に関する研究・人材育成事業・知識普及事業等を実施するために、国際連合大学へ拠出金を出している、長期継続事業の観点から検証を行った。 2. 所見：平成4年度から行われている事業であり、これまで蓄積された事業の成果を踏まえ、効率化を図ること等により、予算を縮減すべきである。					
補記						

## 国際連合大学事業への拠出

文部科学省  
200百万円

### 【拠出金】

A. 国連大学:200百万円

グローバルな変化とサステイナビリティ、国際協力と開発、平和構築と安全保障等に関する研究・人材育成事業・知識普及事業等を実施するための経費を拠出。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

国際連合大学			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
拠出金	日本・国連大学共同研究事業の 運営に必要な経費	200			
計		200	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につ  
 いて記載する。使途と費目の  
 双方で実情が分かるように記  
 載)